

平成十九年度 町政功労者表彰式

このたび、町政功労者表彰式において、町政事務や公共の福祉のために功績のあった方や団体を対象に表彰式が行われ、次の方々がそれぞれの功績により表彰を受けました。

(敬称略 順不同)

〈自治功労表彰の部〉

●教育委員会委員として十二年以上在職し、退職したことにより
矢嶋洋昭

〈一般表彰の部〉

●町政の振興・社会福祉等に寄与したことにより

山本牧人、宮田路子、岩田淳子、
中村美美江、行谷経子、岡本和江、
株式会社ホテルマネージメント
システム、荒本嘉道、植村英、
石郷岡重臣

●公共の福祉のために土地を寄付したことにより

永田直比古、三木英代、矢島清一、
矢島ちよ子、横山はな

●芸術・文化向上に寄与したことにより

宮田羊子、笹田斐子、宇野喜三郎

〈自治表彰の部〉

●選挙管理委員会委員として八年以上在職したことにより
齋藤公志

●執行機関の附属機関の委員等として八年以上在職したことにより

高木典雄、工藤昇、堀内章、
黒田晴江、木津幸雄



あいさつ標語優秀作品

あいさつ標語を夏に募集したところ、二七八人から二九三作品の応募があり、次の作品が優秀賞に選ばれました。
(敬称略)

あいさつで にが手な人が すきになる

阿部 大河(小学校三年)

あいさつで あげるもらえる 元気とえがお

安達 芽瑠(小学校四年)

あいさつは 人に伝える 真心さ

青木 怜之(小学校四年)

あいさつは じしゃくだね 心と心がくつついた

峰松 遥風(小学校五年)

心のパツ あいさついっぱい 明るくパツ

杉浦 環(小学校六年)

あいさつ運動 海から山から 葉山から

柴田光太郎(小学校六年)

『こんにちは』 心もつなぐ 手もつなぐ

渋井 朝葵(小学校六年)

おはようと 気軽にかけるその言葉 一言の中に感じるぬくもり

我妻 祐輔(中学校二年)

あいさつで みんなの心を ノックして!

矢嶋 桃子(中学校二年)

こんにちは 一言話すと 無限の笑顔

望月 佑一(中学校三年)

目があつて 思わず「おはよう」声かけた 今日が始まる平和な一日

加藤 美鳥(中学校三年)

「あいさつ」は心と心をつ結び、家庭、地域のかけ橋となります。子どもたちの健やかな成長を願って、町内の小・中学校を中心に「あいさつの励行」を今月に行います。町民の皆さんも「子どもたちとのあいさつ」にご協力をお願いします。

問合せ 葉山町青少年問題協議会(生涯学習課内) ☎内線七二二二

十二月四日～十日は

人権週間です

「人権」というと、難しく考えられがちですが、私たち一人ひとりが、差別をしたりされたりすることなく、幸せに暮らすための大切な権利です。

「人権週間」は、一人でも多くの皆さんが人権に対する正しい確識を養い、人権を守ることの大切さを再確認するために設けられました。

お互いの違いを認め、お互いの苦しみを理解し、その個性を尊重し合うことで、問題の多くは、解決できると思われます。

自分にとって、一番身近な問題から考えてみませんか。

人と人との絆を未来へつなぐ

人権擁護委員

人権擁護委員は、地域や家族の絆をいかに未来へつなげて問題解決するかを大切にしています。相談内容をよくお聞きしたうえで、当事者双方の関係を断ち切らないよう、専門窓口を紹介するなどの助言をします。

よろず相談のつもりで、悩みや困

りごと相談をおよせください。

当町でも、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が、毎月第二火曜日に、家庭内や、隣人とのめんどりに、借地、借家、相続などの相談に応じています。また委員の自宅でも随時相談を受け付けています。

秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

人権特設相談

日時 十二月四日(火)

十三時三〇分～十六時三〇分

場所 役場四階大会議室

◆同時に行う行政相談では国の業務（年金、郵政など）に関する相談を受け付けます。

葉山町人権擁護委員

(敬称略)

横田 昌和 (上山口一四〇七)

☎八七八一七七七七

本多 清法 (一色二一五四)

☎八七五―三五三一

永田 和子 (下山口一四三七―)

☎八七五―一〇七九

伊東 清 (木古庭五〇一)

☎八七八―七八五一

中村 欣司 (堀内八〇四―一〇六)

☎八七五―一六一六

秋山 満江 (長柄七〇五一三二五)

☎八七五―六七一八

有友 光代 (堀内二〇二一)

☎八七五―〇五〇七

山藤 英昭 (長柄一五六二)

☎八七五―五四九四

問合せ 町民サービス課

☎内線二〇五・二〇六

第二七回全国中学生人権作文

コンテスト横須賀地区大会

審査結果

町立中学校の皆さんから人権作文の募集をしたところ多くの作品が寄せられました。作文を書くことを通じて、人権尊重の重要性、必要性について理解を深めていくとともに、豊かな人権感覚を身につけていくことを目的としています。

(敬称略)

優秀賞 (同神奈川県大会 優秀賞)

葉山中学校三年 森川 愛美

題名 「ヤスオさんのこと」

銅賞

南郷中学校三年 古田裕子

題名 「守るべきものとは…?」

おめでとうございます。

問合せ 町民サービス課

☎内線二〇五・二〇六

葉山ロイヤルワイン

予約販売

「葉山ロイヤルワイン」は、町の夏みかんを主原料にして作り上げたワインです。販売は12月23日(日)、予約は12月1日(土)から町酒商組合加盟店で受付けます。

【720ml 1,100円(税込)】

葉山ロイヤルワイン販売店一覧
葉山町酒商組合加盟店

店名	電話
もとまちユニオン葉山店	875-5155
有)矢島酒店	875-0022
資)大門商店	875-1018
有)亀ヶ谷商事	875-1136
京急ストア葉山店	875-8191
金井商店	878-7528
瀬谷商店	878-7711
高梨商店	875-1417
田中屋酒店	875-0417

店名	電話
有)笠原商店	875-0474
リカーズかさばら	875-5212
荒井商店	875-6054
有)亀ヶ谷商事滝の坂店	875-6937
ユニオン湘南国際村店	857-0345
ファミリーマート葉山町店	878-8850
ローソン葉山堀内店	875-0535
スリーエフ葉山長柄店	876-0318

「昭和の散歩道」ルート案

10月29日（月）に「昭和の日」創設記念事業推進会から、「昭和の散歩道」のルート案が提出されました。
 ルート検討判定指標 ○：良 △：やや良 ▲：一部問題あり ×：問題あり

1 海側ルート（海辺コース）

◆主馬寮跡地～幸幸道路～御用邸～葉山しおさい公園～県立近代美術館 葉山～山口蓬春記念館～県道森戸海岸線～芝崎海岸～高橋是清の別荘跡～県道森戸海岸線～神社下海岸～森戸神社～西東三鬼句碑～かぎ家跡御用松～元町商店街もしくは森戸海岸～五十集場～旧三ヶ浦～（葉山マリーナー）～味の素研究開発の地～（日影茶屋）～旗立山～築港記念碑～葉山新港

視点	縁り性	親しみ性	安全性	快適性	利便性	自体験	然性	福祉性	公道性	距離性	賑わい性
		○	○	▲	○	△	○		▲	○	○

2 山側ルート（里山コース）

◆主馬寮跡地～白石橋～（下山口会館）～下山川河川敷～茅山荘～梅の巨古木～星山の砲台道～御用邸旧水源地～御感の桜～門間の庚申塔～（三留牧場）～三浦半島中央道～湘南国際村

◆主馬寮跡地～上原橋～一色橋～旧桂道路～一色小学校～県道横須賀葉山線～吾妻神社～新善光寺～県道横須賀葉山線～旧東海道古道～上山口小学校～野菜加工所～千枚田～三浦半島中央道

視点	縁り性	親しみ性	安全性	快適性	利便性	自体験	然性	福祉性	公道性	距離性	賑わい性
		○	△	▲	○	▲	○		▲	○	△

問合せ 企画調整課 ☎内線331

葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎特選 *共選

◎尉鷗略より白き紋つけて炬開きの席訪ね来たりし
 (評)陰曆十月初亥の日は茶道では大切な炬開きと口切りの日。色づき初めた茶室の庭には恰も羽に白い紋の鷗も威儀を正して来ていた。季節、色彩感が織込まれ、長年茶道精進の作者ならではの歌です。

青空に自在の構図描きある紅葉の占むる赤き量感

富士山は見えないだろうなと思いつつ森戸の浜に夕日見にゆく

ロザリオに甲斐路デラウェア巨峰たち個々の秋色まるまる房なす

卓上の風鈴ときを音立つるひとり遊びのやうに秋呼ぶ

運動会いたしましたけなわ落葉掃く手はいつしらにリズムに乗りて

太陽の絵文字を十も並べありがん異常なしのメール届きぬ

留学をして十日経つ孫からのメール届けば里心見ゆ

生きる事難くなる世なりけり 年金不安煙草をやめる

つつ切つて行く公園に赤とんぼ低く飛び交う羽根ふるわせて

近藤 糺

岩渕寿々子

渡辺 裕子

金井 比佐

鈴木 榮子

石川サヨ子

中川 弘子

多羅 空竹

米田 宮子

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎*釣り捨てし雑魚の干涸ぶ波止の冬 近藤 糺
 (評)冬といえは勿論立冬から立春の前日までのことである。僕も釣りが大好きだったので夏も冬もこのような場面を見たことがある。しかし干からびた印象は冬の方が深い。一点集中でまとまった作品である。

◎*釣り捨てし雑魚の干涸ぶ波止の冬 近藤 糺
 (評)干からびた雑魚とはいいが、からび切つたというよりは、まだ鱗のきらめきはあるのではないか。それは上五で釣り捨てしとことわっている点がある。この句のポイントは波止の冬。冬の波止でない。この違いは大きい。

稲雀銜柄選びしてをりぬ 村上 権次

(評)稲が熟するころ、群雀が飛んできてせつ

かくの稔りを啄まれてしまう。その為、

案山子や鳴子などで追い払うのだが、繰

り返して現れる。この作品は稲雀を擬人

化して「銜柄選び」をしていると表現し

たところに新しい発見と面白味がある。

山門といふ秋風の通り道 石川 光子

櫛紅葉白亜の序舎かがやけり 安藤とみ子

*自転車に乗る子押す子や秋日和 米倉 久恵

途切れつつ草陰に鳴く朝の虫 米田 宮子

青空に映える朱色や残り柿 深海志津枝

故里に名残の渡し秋うらら 石川 光子

(評)名残りというからには、この渡しは他の

ところではなくなつたが、わが故里では

残っているとよ。名残惜しいとい

う意味合いもあるだろう。故郷だけに

思ひは強い。季語の秋うららが情感を定

着させる。

改葬の法事すすむやななかと 伊藤 青風

雲水の草鞋解けて鯛雲 村上 権次

消灯し玻璃戸一杯十三夜 川崎 虎康

*自転車に乗る子押す子や秋日和 米倉 久恵

途切れつつ草陰に鳴く朝の虫 米田 宮子